

特別講演

主催 埼玉医科大学心臓血管外科 ・ 後援 埼玉医科大学卒業教育委員会
 平成17年11月9日 於 埼玉医科大学第四講堂

Medical and Postgraduate Studies in Canada: A Challenging Opportunity

Dr. Moulay Alaoui-Jamali

Full professor, Department of Oncology and Medicine, Group leader, Drug Discovery Program of the McGill Centre for Translational research in Cancer Chairperson, Cancer Progression and Therapeutics Panel, Canadian Institutes for Health Research

Lady Davis Institute for Medical Research and the Segal Comprehensive Cancer Center Departments of Oncology and Medicine Faculty of Medicine, McGill University, Montreal, Canada

Alaoui-Jamali教授はカナダにおける胸部外科領域のCancer Biologyの第一人者で、Canadian Institutes for Health ResearchにおけるCancer Progression and Therapeutics PanelのChairmanであり、カナダにおけるClinical Researchの指導者として活躍されている。多くのグラント申請の審査に当たっており胸部外科領域のがん治療(肺癌をはじめ乳癌の化学療法)、更にB型肝炎や肝臓癌の化学療法・遺伝子治療が専門領域である。Alaoui-Jamali教授は、Postgraduate educationに熱心に取り組んでおられ、ポスドクやPh.D.の研究指導・グラント申請指導の専門家である。モントリオールにあるMcGill UniversityにおいてResearch Traineeを多く指導し、癌の化学療法・遺伝子治療における多くの研究者を育てた実績を持ち、カナダにおいてPostgraduate educationに関する指導的立場にある。

今回の講演では特に、カナダにおけるPostgraduate educationを含めた医学教育の現況を話し、McGill UniversityにおけるポスドクやPh.D.の研究指導の実情、ならびにグラント申請のコツなどについて実際的な講演をした。

Universityは1644年に設立されたDieu病院を起源とし、1811年にJames McGillがMcGill College Campusを設立し、1821年にMcGill Universityとなり、医学部も充実していった(図1)。現在のMcGill University(図2)は世界ランキングにおいてトップ25大学に属し、アメリカのCornell UniversityやPrinceton UniversityなどIve League schoolとならび称されている。特に神経科学、遺伝子学、医学、音楽、芸術などの領域では世界的レベルであるとされている。医学部は、4年間の

カリキュラム(M.D.,C.M. program)があり、ケベック州の学生には特別入学枠(Med-P program)がある。研究業績を積みたい医学生にはMD-PhD programが用意されており、医療経営学に興味のある学生に対してはMD-MBA degreeを取るコースが準備されている。



図1. McGill's First Medical Building 1872.



図2. The Present McGill Medical Sciences Building, the McIntyre.

モントリオールにおける医学教育はフランス語で教育する Montreal University (French Faculty of Medicine) と英語で教育する McGill University (English Faculty of Medicine) の2系列がありそれぞれ関連病院を系列化している。それ故、McGill Universityにおける教育はすべて英語で行われている。入学選考は、学業成績 (Grade Point Average=GPA) の中でも数学と科学が特に重視され、加えて医学部入学試験 (the Medical College Admission Test) の成績と合わせて優秀な学生が選抜される。英語圏外の学生に対してはTOEFL testなどの成績も評価され、選抜される。

更に、個人の人格および学業以外の業績も合わせて評価対象となる。また、入学後の学生の権利や義務についてもハンドブックが作成され、充実した学生生活を送れるよう成文化されている。(http://upload.mcgill.ca/secretariat/greenbookenglish.pdf)

McGill Universityは外国留学生の受け入れ態勢も整っていて、留学生に対するオリエンテーション、入国の法的援助、経済支援、国際強制健康保健への加入、生活習慣・文化に適合するためのカウンセリングなどのサービスも充実している。毎年2400名もの学生 (undergraduate) およびgraduate studentに対するアパートや家具つき住居 (図3) の斡旋業務も行われていて、外国人留学生積極的に受け入れる努力がなされている。下記のホームページで入学に必要な情報が得られる。



図3. A typical room at McGill's new residence hall.

(http://www.cags.ca/pdf/CAGSHandbook05.pdf admissions.med@mcgill.ca)

また、日本人学生を対象とした英語教育のクラスも1ヶ月コース、2ヶ月コース、3ヶ月コースがあり、日本からの医学生に対してはJamaliの斡旋でMcGill University病院の見学も積極的に受け入れていきたいとのことであった。

夏休みに病院見学と英語教育を受けながら McGill Universityで過ごすのも埼玉医科大学の学生にとっては有意義ではないだろうか?

(文責 許 俊鋭)